

## 合格体験記 20

### 東京都立大学 健康福祉学部看護学科 進学

他の主な合格校： 東京慈恵会医科大学 医学部看護学科、東京医科大学 医学部看護学科

#### 1 志望校決定について

高校1年生の夏休み

私は、看護師の資格を取ることができ、学費の安い国公立を目指そうと入学当初から決めていました。そして初めて都立大にオープンキャンパスに行った際、看護師の資格だけでなく保健師の資格も取ることが出来る点、1年時に他学部と一緒に学ぶ機会があり、多様な視点を身につけられる点に魅力を感じて受験しようと思いました。

#### 2 学習計画について

##### (1) 1、2年次の学習について

小テストは毎回満点が取れるくらいに勉強していました。特に、英単語は部活の遠征時の移動時や、寝る前など、とにかくずっと暇な時は単語帳を開いて勉強していました。定期テストは、同じ部活の人達と競い合って、公募推薦を目指すことが出来るくらいには成績を取っていました。

##### (2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

授業には欠かさず出席し、復習に重点を置き勉強していました。

私は、週の初めにこれは絶対にやりたいというものを書き出して、それをこなしていました。そして、何を何時間やったかを手帳に記入していました。

第1志望に合格する気持ちを強く持って日々を過ごしていました。

私は学校で勉強する時間が1番長かったとは思いますが、学校→塾→家のように、1日に何回も場所を変えて勉強していました。そうすることで、気持ちを切り替えられると思います。学校内でも場所を変え、進路室や廊下や図書室など気分に応じて使い分けていました。

また、英語と数学は早めに取り掛かった方がいいと思います。夏休みはほぼこの2科目をやっていました。

##### (3) 利用した参考書・問題種、その利用法

基本的には学校で渡された参考書を使っていました。色んなものに手を出すより、1つのものを繰り返しやる方が絶対にいいと思います。

##### (4) 模試の活用方法

模試の直しは、ノートを作ってかかさずにやっていました。模試の判定が悪いとすごくへこみます。11月にもものすごく悪い点数をとって、焦りました。でも、逆に自分の弱点を知ることができて良かったなと思います。そのため、模試は判定ではなく弱点を見つけ出せる手段と思って活用し

ていくと良いと思います。

#### (5) 予備校の活用方法

塾は苦手な科目のみ取っていました。学校でも質問は出来ませんがいつでも出来る訳では無いので、そういう時は塾の先生に分からない問題を聞いていました。自分の学習の妨げにならないぐらいにバランスを考えた方がいいと思います。

#### (6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

部活動はキャプテンとして最後までやり遂げました。行事にも積極的に取り組み、有志活動も行っていました。これらの両立は大変ではありましたが、達成感があるので絶対に全力でやり切った方がいいと思います。

#### (7) 後輩へのアドバイス

大学受験は長く辛い戦いです。思うように成績が伸びず不安になったり、勉強したくなくなったりします。そんな時、一緒に学ぶことの出来る友達がいたということが大きな支えになりました。辛い時は学校に来て友達と一緒にご飯を食べたり勉強したりして気分転換をしながら受験を乗り越えた方がいいと思います。

また、私はずっと苦手だった国語と数学に最終的に助けられました。今まで悪い点しかとれていなかったのにセンターで1度も取ったことのない点数を出しました。苦手な科目も諦めずにやり続け、バランスよく全ての教科ができるのにした方がいいです。

そして、センターリサーチで悪い判定が出て逆転の可能性があるとあります。私はほぼセンターで決まる大学だったのに、C判定で合格しました。そのため、第1志望を諦めない気持ちは大事にした方がいいと思います。

最後に、面接が受験科目にある人は、学校の対策を何度もやっていくことで上手く話せるようになるので安心してください。苦手な人も絶対に大丈夫です。